

教えて!

富山 けいざい



EVってなあに？

◆電気で走る自動車、電池技術発展で実用的に

ブン子さんは北陸経済研究所（富山市）の楠智也主任研究員に聞きました。

Q－どんな意味かしら。

A－英語の Electric Vehicle の頭文字を取った略語で、電気自動車のことです。従来の自動車はガソリン（バスやトラックなどは軽油）をエンジンで燃やして走りますが、EVは電気でモーターを回して走ります。走行に使う電気は、外部から充電して蓄電池にためておきます。



Q－なぜ注目されているの。

A－EVはガソリン車と異なり、走行中に地球温暖化の原因になる二酸化炭素や大気を汚染する排ガスを出さない利点があります。昨年、ガソリン車を将来的に禁止すると発表した国があり、話題になりました。

Q－最近開発されたのかな。

A－100年以上前から環境に優しい自動車として研究・開発されてきました。これまでは走行距離が課題となっていました。一般的なガソリン車では、燃料を満タンにすれば700キロ程度走行できますが、EVは電池容量の限界があり、走ることができる距離が短く、実用的ではありませんでした。最近では電池技術の発展で走行距離が伸び、新型の日産リーフは1回の充電で400キロの走行が可能になりました。また、街中などに設置された充電スタンドも増えています。県によると、県内には昨年3月末時点で254カ所314基の充電スタンドがあるとのことでした。

Q－課題は何かしら。

A－走行距離のほかにも、ガス欠ならぬ「電欠」への不安が大きいことが挙げられます。価格もガソリン車と比べると割高です。ガソリン車は約3万点の部品でできていると言われていますが、EVはエンジンがないことから37%の部品が不要になると予想されています。自動車の部品や材料を製造している企業は国内に多くありますが、EVがガソリン車にとって代わると仕事がなくなってしまう会社が出てきて、雇用や経済に悪影響が出てくるのではないかと心配する人もいます。